



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月3日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	217,146	△2.5	18,537	16.0	17,794	2.7	6,753	△33.2
2020年3月期第3四半期	222,639	△1.3	15,974	1.3	17,320	2.7	10,117	△1.3

（注）包括利益 2021年3月期第3四半期 7,442百万円（△28.3%） 2020年3月期第3四半期 10,385百万円（27.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	67.03	—
2020年3月期第3四半期	100.42	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	363,958	282,468	69.6	2,514.12
2020年3月期	367,194	280,930	67.7	2,469.20

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 253,293百万円 2020年3月期 248,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年3月期	—	23.00	—		
2021年3月期（予想）				23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,300	△3.5	19,200	1.0	19,000	△8.6	8,300	△27.6	82.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	100,750,620株	2020年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,395株	2020年3月期	1,367株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	100,748,765株	2020年3月期3Q	100,749,762株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 業績の状況	11
(2) グループ会社数	11
(3) 連結損益計算書の状況	12
(4) 連結貸借対照表の状況	15
(5) 設備投資の状況	16
(6) 減価償却費の状況	16
(7) 主要経営指標等	16
(8) 参考情報	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発生以降、世界的に感染拡大と抑制施策が繰り返され、抜本的な医療対応体制の確立が期待されるなか、依然として経済活動への影響は甚大であり、先行き不透明な状況が継続しております。このような状況のなか、当社グループはライフラインを支える「食」の一翼を担う企業グループとして、経営環境の変化への対応に取り組み、製品・サービスの安定的な提供に努めてまいりました。

同時に、「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします。」という当社グループ理念の実現に向けて、企業市民として果たすべき「3つの責任」(お客様に対して、社員とその家族に対して、社会に対して)の全てにおいて取組を進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、コロナ禍における消費行動の変化が各事業に大きな影響を及ぼし、セグメントによって明暗が分かれる状況が続きました。外出自粛等の影響から健康食品事業や外食事業が低迷する一方、家庭内食需要の増加により国内外で家庭用製品の販売が伸長し、香辛・調味加工食品事業や海外食品事業が好調に推移したほか、各事業で発生するコストが抑制されました。

なお、コロナ禍による事業環境の変化を受け、第2四半期連結会計期間には営業外費用(持分法による投資損失)および特別損失(減損損失)を計上しております。

これらの結果、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	217,146	97.5
営業利益	18,537	116.0
経常利益	17,794	102.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,753	66.8

セグメント別の経営成績の概況(セグメント間取引消去前)は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	112,612	103.0	13,672	128.7
健康食品事業	16,100	71.5	330	44.3
海外食品事業	28,800	130.4	4,611	135.8
外食事業	33,183	84.6	△887	—
その他食品関連事業	32,639	92.9	1,447	92.0
小計	223,334	97.8	19,173	114.1
調整(消去)	△6,189	—	△636	—
合計	217,146	97.5	18,537	116.0

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

ハウス食品(株)の家庭用製品事業は、コロナ禍による内食需要の増加と影響長期化にともない変化するお客様ニーズに対応すべく安定的な製品供給と提案強化に努め、カレーやスパイス等、幅広い製品群で増収となりました。一方、ハウス食品(株)や(株)ギヤバンが手掛ける業務用製品事業は、緩やかな回復傾向にあるものの、外食市場低迷の影響が大きく、減収となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は1,126億12百万円、前年同期比3.0%の増収、営業利益は増収効果やマーケティングコストの減少等により、136億72百万円、前年同期比28.7%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は12.1%となり、前年同期より2.4pt向上いたしました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは依然厳しい事業環境が継続しており、引き続き徹底したコスト削減と構造改革を進めております。事業基盤再構築の一環としてPET製品の事業縮小に取り組む一方、お客様の日々の健康づくりへの貢献をめざし、ビタミン事業や乳酸菌事業の育成に努めました。しかしながらコロナ禍の影響を受け、収益の柱である「ウコンの力」が外飲み需要の急減から大幅減収となったほか、「C1000」は特に都市部において販売機会の減少を強いられました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は161億円、前年同期比28.5%の減収となりました。利益面では、徹底したコスト削減に努めましたが大幅減収による影響を吸収するには至らず、営業利益は3億30百万円、前年同期比55.7%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は2.1%となり、前年同期より1.3pt減少いたしました。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2020年1月～9月

米国豆腐事業は、植物性タンパク市場の需要拡大や2020年1月のロサンゼルス工場新ラインの稼働が寄与し販売を伸ばしたものの、当初想定した製造ラインの安定稼働を確保できなかったこともあり、増収ながらも減益となりました。

中国カレー事業は、内食需要の高まりから家庭用製品が伸長したことに加え、特に上期において販促等の事業活動が制限され、コスト投下量も縮小したことから増収増益となりました。なお、業務用製品は経済活動再開後は徐々に回復の動きを見せております。

タイにおける機能性飲料事業は、物品税の導入やマーケティングコストの増加が負担となりましたが、コロナ禍において想定以上に出荷が進み、増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は288億円、前年同期比30.4%の増収、営業利益は46億11百万円、前年同期比35.8%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は16.0%となり、前年同期より0.6pt向上いたしました。

<外食事業>連結対象期間：(株)番屋は2020年3月～11月、海外子会社は2020年1月～9月

(株)番屋は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた自治体からの営業自粛要請やインバウンド需要の消失等により、厳しい事業環境が続きました。このような環境のなか、感染防止対策に積極的に取り組み、安心してご来店いただける店舗運営に努めたことに加え、宅配や持ち帰りでのテイクアウト販売の強化に注力したこともあり、既存店売上高は国内外ともに徐々に回復傾向にあります。また、フランチャイズ加盟店に対しては、加盟保証金制度を廃止し全額返還する等の資金繰り支援策を実施しております。

なお、足元の事業環境をふまえ、第2四半期連結会計期間において、同社を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産の減損処理を行い、特別損失を計上しております。

以上の結果、(株)番屋とその他外食子会社を含む外食事業の売上高は331億83百万円、前年同期比15.4%の減収、営業利益は8億87百万円の損失、前年同期からは13億57百万円の減益となりました。結果、売上高営業利益率は△2.7%となり、前年同期より3.9pt減少いたしました。なお、減損損失の計上により当第3四半期連結累計期間におけるのれんやその他の無形固定資産の償却負担は9億23百万円減少しております。

<その他食品関連事業>

CVS向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、焼成パン類が軟調に推移したことに加え、人件費等の増加もあり減収減益となりました。

農産物・食品等の輸出入および販売を営む(株)ヴォークス・トレーディングは、MA米(ミニナム・アクセス米)の落札が前年同期から減少したことに加え、業務用製品の荷動きが鈍化したこともあり、減収減益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は326億39百万円、前年同期比7.1%の減収、営業利益は14億47百万円、前年同期比8.0%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は4.4%となり、前年同期より0.0pt減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,639億58百万円となり、前連結会計年度末に比べて32億36百万円の減少となりました。

流動資産は、有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金や現金及び預金が増加したことなどから、95億41百万円増加の1,591億94百万円となりました。固定資産は、建物及び構築物が増加した一方で、契約関連無形資産や商標権が減少したことなどから、127億77百万円減少の2,047億64百万円となりました。

負債は、814億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて47億74百万円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金や未払法人税等が減少したことなどから、18億73百万円減少の512億65百万円となりました。固定負債は、長期預り保証金や繰延税金負債が減少したことなどから、29億2百万円減少の302億25百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分が減少した一方で、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて15億38百万円増加の2,824億68百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.6%（前連結会計年度末は67.7%）、1株当たり純資産は2,514円12銭（前連結会計年度末は2,469円20銭）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境等をふまえ、2020年10月30日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報や仮定に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,424	71,410
受取手形及び売掛金	47,774	53,581
有価証券	10,893	9,010
商品及び製品	11,390	12,347
仕掛品	1,979	2,206
原材料及び貯蔵品	5,128	4,954
その他	6,181	5,855
貸倒引当金	△115	△169
流動資産合計	149,653	159,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,327	33,638
機械装置及び運搬具(純額)	17,229	16,853
土地	31,865	31,976
リース資産(純額)	1,861	1,699
建設仮勘定	4,589	2,556
その他(純額)	2,368	2,158
有形固定資産合計	90,239	88,882
無形固定資産		
のれん	2,562	—
商標権	24,024	19,502
ソフトウエア	1,549	1,556
契約関連無形資産	24,887	20,002
ソフトウエア仮勘定	731	1,718
その他	722	700
無形固定資産合計	54,476	43,478
投資その他の資産		
投資有価証券	60,182	58,949
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	1,837	1,836
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	3,162	3,710
破産更生債権等	659	649
長期預け金	1,088	1,035
その他	6,825	7,092
貸倒引当金	△1,931	△1,868
投資その他の資産合計	72,825	72,405
固定資産合計	217,541	204,764
資産合計	367,194	363,958

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,706	20,980
電子記録債務	1,553	1,287
短期借入金	3,340	4,050
1年内償還予定の社債	26	—
リース債務	491	521
未払金	17,435	15,093
未払法人税等	4,232	3,084
賞与引当金	636	240
役員賞与引当金	85	57
株主優待引当金	86	74
資産除去債務	3	14
その他	5,543	5,864
流動負債合計	53,138	51,265
固定負債		
長期借入金	98	76
リース債務	1,451	1,263
長期未払金	250	222
繰延税金負債	22,518	21,356
退職給付に係る負債	1,987	2,010
資産除去債務	723	748
長期預り保証金	5,698	4,130
その他	400	420
固定負債合計	33,126	30,225
負債合計	86,264	81,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,829
利益剰余金	195,844	197,963
自己株式	△6	△9
株主資本合計	228,616	230,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,650	21,872
繰延ヘッジ損益	14	△12
為替換算調整勘定	292	△452
退職給付に係る調整累計額	1,198	1,154
その他の包括利益累計額合計	20,154	22,562
非支配株主持分	32,160	29,175
純資産合計	280,930	282,468
負債純資産合計	367,194	363,958

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	222,639	217,146
売上原価	121,100	118,711
売上総利益	101,539	98,435
販売費及び一般管理費	85,565	79,898
営業利益	15,974	18,537
営業外収益		
受取利息	256	161
受取配当金	387	402
持分法による投資利益	561	—
受取家賃	570	596
その他	284	554
営業外収益合計	2,058	1,713
営業外費用		
支払利息	48	39
貸貸費用	466	474
為替差損	108	450
持分法による投資損失	—	1,323
その他	91	169
営業外費用合計	712	2,455
経常利益	17,320	17,794
特別利益		
固定資産売却益	32	2
投資有価証券売却益	612	33
店舗売却益	37	84
その他	0	—
特別利益合計	682	118
特別損失		
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	440	78
投資有価証券売却損	0	13
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	114	9,275
持分変動損失	212	—
事業譲渡損	42	—
その他	24	13
特別損失合計	831	9,394
税金等調整前四半期純利益	17,171	8,519
法人税等	5,482	3,556
四半期純利益	11,689	4,963
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,117	6,753
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,572	△1,791

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	3,440
繰延ヘッジ損益	△10	△29
為替換算調整勘定	△1,098	△829
退職給付に係る調整額	△335	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△43
その他の包括利益合計	△1,305	2,479
四半期包括利益	10,385	7,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,885	9,161
非支配株主に係る四半期包括利益	1,499	△1,720

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(持分法による投資損失)

当社の持分法適用会社でインドにおいてスパイス製品の製造販売を主な事業とするヒマドリフーズ社は、同国における新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないなか、事業環境が悪化し、想定していた収益が見込めなくなりました。

これにより当社は、第2四半期連結会計期間において、1,365百万円を持分法による投資損失(うち、のれん相当額未償却残高796百万円)として営業外費用に計上いたしました。

(減損損失)

当社は2015年12月に㈱壺番屋株式を追加取得し、当社の連結子会社といたしました。第2四半期連結会計期間において新型コロナウイルス感染症が再拡大した状況をふまえ、同社を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産の減損処理を行い、特別損失9,128百万円を計上いたしました。当該減損損失の計上は㈱壺番屋を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産から創出される将来キャッシュ・フローを再評価した結果、当初想定に比して低下したことによるものであります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

当第3四半期連結累計期間については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、コロナ禍における消費行動の変化が当社連結業績ひいては会計上の見積りに大きく影響した結果、上記記載のとおり「持分法による投資損失」および「減損損失」を計上いたしました。

第4四半期連結会計期間以降についても、新型コロナウイルス感染症が社会・経済活動に与える影響は依然不透明な状況が続くと考えられ、なかでも健康食品事業および外食事業については、来期以降も一定の影響が継続すると仮定しております。現時点での想定にさらに大きな変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	106,227	22,303	21,992	39,183	32,895	222,600	—	222,600	39	222,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,090	226	91	57	2,243	5,707	—	5,707	△5,707	—
計	109,317	22,529	22,083	39,240	35,138	228,307	—	228,307	△5,668	222,639
セグメント利益又は 損失(△)	10,625	745	3,396	469	1,573	16,809	—	16,809	△835	15,974

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△835百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、114百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	109,332	15,854	28,718	33,147	30,052	217,102	—	217,102	44	217,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,280	246	83	36	2,587	6,232	—	6,232	△6,232	—
計	112,612	16,100	28,800	33,183	32,639	223,334	—	223,334	△6,189	217,146
セグメント利益又は 損失(△)	13,672	330	4,611	△887	1,447	19,173	—	19,173	△636	18,537

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△636百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、(株)老番屋を連結子会社とした際に発生したのれんおよびその他の無形固定資産に係る減損損失9,128百万円および店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失147百万円を、「外食事業」のセグメントにおいて計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「外食事業」のセグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したことよりのれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は854百万円です。なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の記載金額には、当該のれんの減損も含めて記載しております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第3四半期		21.3期 第3四半期		20.3期 通期		21.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	222,639	98.7%	217,146	97.5%	293,682	99.0%	283,300	96.5%
営業利益	15,974	101.3%	18,537	116.0%	19,005	108.2%	19,200	101.0%
経常利益	17,320	102.7%	17,794	102.7%	20,797	108.9%	19,000	91.4%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	10,117	98.7%	6,753	66.8%	11,458	83.2%	8,300	72.4%
包括利益	10,385	127.8%	7,442	71.7%	7,981	81.8%	-	-

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額		前年同期比		金額		前年同期比	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	109,317	101.7%	112,612	103.0%	144,996	102.7%	145,800	100.6%
健康食品事業	22,529	89.2%	16,100	71.5%	27,890	90.3%	20,500	73.5%
海外食品事業	22,083	114.2%	28,800	130.4%	29,734	113.0%	35,100	118.0%
外食事業	39,240	101.1%	33,183	84.6%	52,498	100.8%	45,000	85.7%
その他食品関連事業	35,138	75.3%	32,639	92.9%	46,296	74.8%	45,100	97.4%
調整額	△5,668	-	△6,189	-	△7,733	-	△8,200	-

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額		前年同期比		金額		前年同期比	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	10,625	99.8%	13,672	128.7%	14,111	111.4%	15,700	111.3%
健康食品事業	745	39.0%	330	44.3%	521	36.7%	△400	-
海外食品事業	3,396	124.3%	4,611	135.8%	4,098	114.3%	4,500	109.8%
外食事業	469	-	△887	-	202	-	△600	-
その他食品関連事業	1,573	85.8%	1,447	92.0%	1,791	87.6%	1,700	94.9%
調整額	△835	-	△636	-	△1,717	-	△1,700	-

(2) グループ会社数

	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	20.3期 通期
連結子会社数	36社	36社	35社
国内	14社	14社	14社
海外	22社	22社	21社
持分法適用関連会社	4社	5社	5社
国内	2社	2社	2社
海外	2社	3社	3社

《21.3期第3四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
ハウス食品(株)	104,885	103.9%	12,805	130.5%	9,144	130.1%
ハウスウェルネスフーズ(株)	16,100	71.5%	327	44.1%	212	40.8%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	10,216	98.1%	571	51.7%	409	50.4%
(株)老番屋(連結)	32,962	86.0%	1,971	46.5%	1,456	52.4%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2020年1月～9月 (株)老番屋：2020年3月～11月

《期中平均為替レート》

	単位	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	20.3期 通期	21.3期 通期見込
米 国	USD	109.20	107.25	109.24	106.43

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	20.3期 第3四半期		21.3期 第3四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	222,639	100.0%	217,146	100.0%	△5,493	△2.5%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	109,317	49.1%	112,612	51.9%	3,295	3.0%
健康食品事業	22,529	10.1%	16,100	7.4%	△6,429	△28.5%
海外食品事業	22,083	9.9%	28,800	13.3%	6,718	30.4%
外食事業	39,240	17.6%	33,183	15.3%	△6,057	△15.4%
その他食品関連事業	35,138	15.8%	32,639	15.0%	△2,499	△7.1%
調整額	△5,668	△2.5%	△6,189	△2.9%	△521	—
売上原価	121,100	54.4%	118,711	54.7%	△2,389	△2.0%
販売費・一般管理費	85,565	38.4%	79,898	36.8%	△5,667	△6.6%
広告宣伝費	7,240	3.3%	5,438	2.5%	△1,802	△24.9%
運送費及び保管費	8,780	3.9%	8,329	3.8%	△452	△5.1%
販売手数料	1,275	0.6%	1,331	0.6%	56	4.4%
販売促進費	24,500	11.0%	23,959	11.0%	△541	△2.2%
人件費	21,522	9.7%	21,201	9.8%	△321	△1.5%
研究開発費	3,281	1.5%	3,124	1.4%	△157	△4.8%
のれん償却額	2,563	1.2%	1,708	0.8%	△855	△33.3%
その他	16,403	7.4%	14,808	6.8%	△1,595	△9.7%
営業利益	15,974	7.2%	18,537	8.5%	2,562	16.0%
営業外収益	2,058	0.9%	1,713	0.8%	△345	△16.8%
営業外費用	712	0.3%	2,455	1.1%	1,744	245.0%
経常利益	17,320	7.8%	17,794	8.2%	474	2.7%
特別利益	682	0.3%	118	0.1%	△563	△82.6%
特別損失	831	0.4%	9,394	4.3%	8,562	1,030.3%
税金等調整前四半期純利益	17,171	7.7%	8,519	3.9%	△8,652	△50.4%
法人税等	5,482	2.5%	3,556	1.6%	△1,926	△35.1%
四半期純利益	11,689	5.3%	4,963	2.3%	△6,727	△57.5%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,117	4.5%	6,753	3.1%	△3,363	△33.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,572	0.7%	△1,791	△0.8%	△3,363	—
四半期包括利益	10,385	4.7%	7,442	3.4%	△2,943	△28.3%

② 営業利益の主な増減要因 (前年同期比較)

(単位: 百万円)

売上総利益の減少	△3,104
マーケティングコスト (広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計) の減少	2,287
のれん償却額の減少	855
運送費及び保管費の減少	452
人件費の減少	321
研究開発費の減少	157
その他費用の減少	1,595

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位: 百万円)

	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	256	161	△95
受取配当金	387	402	15
持分法による投資利益	561	—	△561
受取家賃	570	596	26
その他	284	554	270
営業外収益計	2,058	1,713	△345
支払利息	48	39	△9
賃貸費用	466	474	8
為替差損	108	450	343
持分法による投資損失	—	1,323	1,323
その他	91	169	78
営業外費用計	712	2,455	1,744

④ 特別損益の主な増減内容

(単位: 百万円)

	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	32	2	△30
投資有価証券売却益	612	33	△579
店舗売却益	37	84	47
その他	0	—	△0
特別利益計	682	118	△563
固定資産売却損	0	11	11
固定資産除却損	440	78	△362
投資有価証券売却損	0	13	13
投資有価証券評価損	—	3	3
減損損失	114	9,275	9,161
持分変動損失	212	—	△212
事業譲渡損	42	—	△42
その他	24	13	△11
特別損失計	831	9,394	8,562

⑤ 四半期の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	72,341	72,292	78,005	71,043	293,682	67,448	72,642	77,056		217,146
前期増減	1,036	△2,168	△1,847	△34	△3,014	△4,893	349	△950		△5,493
営業利益	4,638	4,475	6,861	3,031	19,005	4,407	5,470	8,659		18,537
前期増減	327	214	△332	1,236	1,446	△230	995	1,798		2,562
経常利益	5,002	4,995	7,323	3,477	20,797	4,491	4,318	8,984		17,794
前期増減	342	232	△117	1,240	1,697	△511	△676	1,661		474
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失(△)	2,488	2,719	4,910	1,341	11,458	2,789	△1,818	5,783		6,753
前期増減	△227	△131	222	△2,172	△2,309	301	△4,537	872		△3,363
包括利益	1,834	4,017	4,534	△2,404	7,981	2,953	△2,905	7,394		7,442
前期増減	△1,296	△420	3,973	△4,031	△1,773	1,119	△6,923	2,860		△2,943

《事業セグメント別売上高》

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高										
香辛・調味加工食品事業	33,405	35,718	40,194	35,679	144,996	35,350	36,396	40,866		112,612
前期増減	472	742	642	1,915	3,771	1,945	677	672		3,295
健康食品事業	7,520	7,458	7,550	5,361	27,890	4,921	5,746	5,434		16,100
前期増減	△629	△1,359	△752	△269	△3,009	△2,600	△1,712	△2,117		△6,429
海外食品事業	7,390	6,772	7,920	7,652	29,734	8,341	10,456	10,004		28,800
前期増減	1,357	573	815	673	3,418	951	3,683	2,084		6,718
外食事業	13,186	13,310	12,743	13,258	52,498	10,419	11,197	11,567		33,183
前期増減	442	316	△349	6	415	△2,767	△2,114	△1,176		△6,057
その他食品関連事業	12,678	10,912	11,548	11,158	46,296	10,932	10,637	11,069		32,639
前期増減	△2,693	△4,474	△4,349	△4,071	△15,586	△1,746	△275	△479		△2,499
調整額	△1,838	△1,879	△1,951	△2,065	△7,733	△2,514	△1,790	△1,885		△6,189
前期増減	2,086	2,035	2,145	1,712	7,977	△676	90	65		△521

《事業セグメント別営業利益》

	20.3期					21.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業利益										
香辛・調味加工食品事業	2,884	3,006	4,736	3,485	14,111	4,263	3,678	5,731		13,672
前期増減	227	124	△375	1,466	1,442	1,380	672	995		3,047
ROS	8.6%	8.4%	11.8%	9.8%	9.7%	12.1%	10.1%	14.0%		12.1%
健康食品事業	144	351	251	△224	521	△235	177	388		330
前期増減	△519	△90	△556	264	△900	△379	△173	137		△415
ROS	1.9%	4.7%	3.3%	△4.2%	1.9%	△4.8%	3.1%	7.1%		2.1%
海外食品事業	1,310	831	1,255	702	4,098	1,010	1,963	1,639		4,611
前期増減	349	124	192	△151	514	△300	1,132	383		1,215
ROS	17.7%	12.3%	15.8%	9.2%	13.8%	12.1%	18.8%	16.4%		16.0%
外食事業	303	204	△37	△267	202	△927	△523	563		△887
前期増減	463	186	193	△78	763	△1,230	△727	600		△1,357
ROS	2.3%	1.5%	△0.3%	△2.0%	0.4%	△8.9%	△4.7%	4.9%		△2.7%
その他食品関連事業	410	544	620	218	1,791	508	413	526		1,447
前期増減	△195	△41	△25	8	△254	98	△131	△94		△126
ROS	3.2%	5.0%	5.4%	2.0%	3.9%	4.6%	3.9%	4.8%		4.4%
調整額	△413	△460	37	△883	△1,717	△212	△238	△187		△636
前期増減	4	△88	240	△273	△118	201	222	△224		199

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	20.3期末		21.3期 第3四半期末		対前期末 増減	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
流動資産	149,653	40.8%	159,194	43.7%	9,541	受取手形及び売掛金の増加 5,807 現金及び預金の増加 4,987 商品及び製品の増加 957 有価証券の減少 △1,882
固定資産	217,541	59.2%	204,764	56.3%	△12,777	契約関連無形資産の減少 △4,885 商標権の減少 △4,522 のれんの減少 △2,562 建設仮勘定の減少 △2,033 建物及び構築物の増加 1,311
資産合計	367,194	100.0%	363,958	100.0%	△3,236	
流動負債	53,138	14.5%	51,265	14.1%	△1,873	未払金の減少 △2,342 未払法人税等の減少 △1,148 支払手形及び買掛金の増加 1,273 短期借入金の増加 709
固定負債	33,126	9.0%	30,225	8.3%	△2,902	長期預り保証金の減少 △1,569 繰延税金負債の減少 △1,162 リース債務の減少 △188
負債合計	86,264	23.5%	81,489	22.4%	△4,774	
株主資本合計	228,616	62.3%	230,731	63.4%	2,115	利益剰余金の増加 2,119
その他の包括利益 累計額合計	20,154	5.5%	22,562	6.2%	2,408	その他有価証券評価差額金の増加 3,222 為替換算調整勘定の減少 △744
非支配株主持分	32,160	8.8%	29,175	8.0%	△2,985	
純資産合計	280,930	76.5%	282,468	77.6%	1,538	
負債純資産合計	367,194	100.0%	363,958	100.0%	△3,236	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	21.3期 通期見込
設 備 投 資	12,341	6,476	11,800
リ ー ス	1,638	344	400
合 計	13,979	6,820	12,200

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	20.3期 第3四半期	21.3期 第3四半期	21.3期 通期見込
減 価 償 却 費	7,198	7,500	10,200
支 払 リ ー ス 料	268	257	300
合 計	7,465	7,757	10,500

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	20.3期	21.3期 第3四半期	21.3期 通期修正予想
一株当たり四半期(当期)純利益	113.73円	67.03円	82.38円
一株当たり純資産	2,469.20円	2,514.12円	—
総資本回転率	0.80回	—	—
売上高営業利益率	6.5%	8.5%	6.8%
売上高経常利益率	7.1%	8.2%	6.7%
総資産営業利益率	5.1%	—	—
自己資本当期純利益率	4.6%	—	—
自己資本比率	67.7%	69.6%	—
一株当たり配当金	46.00円	—	46.00円
配当性向	40.4%	—	55.8%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	31.6%	—	30.5%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	20.3期	21.3期	21.3期
	6,122人	6,187人	—

◎休職者・パートを含みません。

(8) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ルウカレー	485	519	503	474	450	442
ルウシチュー	181	187	180	181	170	166
ルウハヤシ	61	65	63	61	60	62
レトルトカレー	508	516	539	559	581	612
スパイストータル	674	691	703	715	738	762

② ルウカレー市場動向 (S R I)

2021.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	197円	192円	191円		195円		193円
	前年差	+9円	+2円	+1円		+5円		+4円
ハウス食品	平均売価	198円	191円	191円		194円		193円
	前年差	+7円	+0円	+0円		+4円		+3円
	金額シェア	61.6%	62.9%	62.5%		62.2%		62.2%

出典: (株) インテージ S R I 月次データ (2020.4-2020.12)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2021.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
	ルウカレー計	108.7%	104.0%	103.7%		106.3%		105.5%
	レトルトカレー計	99.5%	109.3%	99.5%		104.6%		102.8%
	ルウシチュー計	128.1%	93.8%	108.3%		103.8%		106.3%
	ルウハヤシ計	105.1%	120.5%	111.0%		112.2%		111.8%
	スパイス計	124.6%	115.9%	112.4%		120.2%		117.4%
健康食品事業								
	ウコンの力	36.6%	56.9%	58.4%		47.5%		52.2%
	C1000	64.8%	75.6%	69.8%		70.0%		69.9%
	1日分のビタミン	94.8%	104.4%	96.6%		99.6%		98.6%